

収納

機能的な収納プランの立て方

動線・適材適所を考慮

物が多くて片付かない、スペースが足りないなどの悩みもリフォーム時に見直すことで、より快適な暮らしにつながるはず。今回は、インテリアコーディネーターの上原牧子さんに、機能的な収納計画のポイントアドバイスをもらいました。

「使いやすい収納をつくるポイントとは？」

上原 収納と物のバランスが大切で、物に対して収納スペースが不足しているお宅を多く見受けられます。通常、収納の割合は、床面積の1.5〜2割程度確保することを基本としています。しかし、収納スペースが十分にあっても使いづらさが解消されるとは限らず、「機能性」と「利便性」、そして室内との「コーディネート」がポイントになります。

バスルームで使う物は洗面室に、生活雑貨類は個室などに、

「日常の動線を考えながら、適材適所へ収められるよう計画することです。また、使いやすいするための基本は見やすく、出しやすくすること。扉を開けて一目で何がどこにあるか、すぐに取り出せるかが大切になってきます。」

「収納のリフォームはどんな流れで進めますか？」

上原 まずは、現場を確認させていただき、持ち物の種類・量・大きさなどをチェックします。収納の奥行きが30センチ〜60センチ程度あれば、たいいていの物が収まる

「具体的な方法は？」

上原 例えばキッチンでは、電化製品の置き場所、ゴミ箱、食品のストックスペース、食器が取り出しやすい高さなどに注意して計画します。また、家族が集まる場のリビングなどは、生活に必要な雑多なものを持ち込まれる場所でもあります。そういった物を収納できるスペースの確保が大切です。クロゼットに

して区切らずに、空間をつくる

ること。生活が変化すると持ち物も変わってきますので、対応できるような柔軟な造りにしておくことがポイントになります。空間に合わせるコーディネートという点では、「見せる」と「隠す」のバランスも大切になります。収納扉の色、デザインなどで工夫するのも一案。特に面積の大きいクロゼットなどは、壁と同色にしてすっきりさせる。逆に、壁と違う色で仕立てると空間のアクセントになります。

「機能的な収納計画で、すっきりとした空間を保つ秘けつは？」

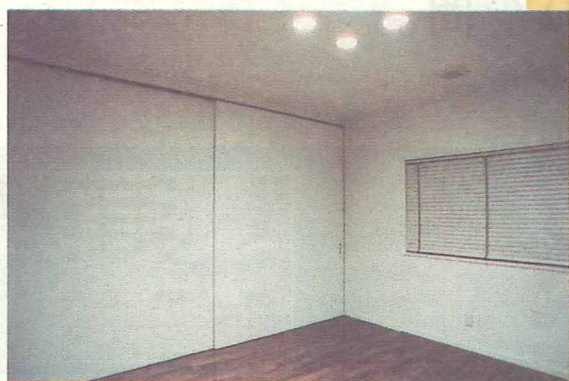
上原 必要なものを出し入れできて、すっきりとした空間は、リラクセスできて気持ちいいものです。その状態を保つためにも、定期的な収納の見直しをす

るといいでしょう。また、自身で家の持ち物を把握し、使った片付けの習慣や、1つ増やしたら1つ処分するなど、家族間でルールを決めるのも1つの方法。計画的な収納で快適な空間を目指してください。(毎月第3金曜日に掲載)

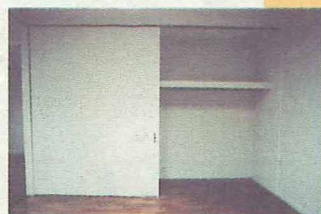
リフォーム 相談室

床の間からクロゼットへ

クロゼットの扉を壁と同色にすることで、壁の一部になり、空間になじむ



▲和室から洋室にリフォーム。床の間をクロゼットに変更



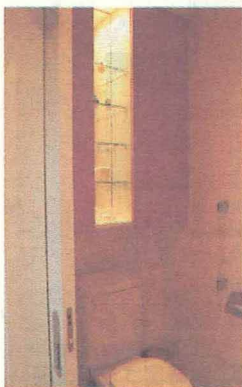
▶内部は仕切り方を左右変えて配置。左は細かく可動式の棚板を取り付けた。右は下段にハンガーパイプを取り付け、大きく上下に仕切る

キッチン

ワークスペースの背後に、収納をプラス。棚の中には食器類を、カウンタ上には家電、下はゴミ箱を置ける。家電やゴミ箱置き場の高さは、作業台よりも下の位置に設けているので、目に入らない



水回り



▶洗面室とトイレ。タオルや雑貨など、その場で使う物が収められる棚を設置するだけで、使いやすさが増す



造り付けとユニット収納

それぞれの好みに合わせてオーダーできる造り付け収納は、素材・デザイン・色などが自由に選べ、無駄なスペースを作らずにプランできる。一方、ユニット家具は、

組み合わせや買い足しが可能で、色や素材を統一することもでき、完成後がイメージしやすくなります。それぞれ特徴があるので、部屋の雰囲気に合わせて選んでみよう。